

関東蒲生会設立50周年に寄せて

始良市市長 笹山 義弘

関東蒲生会の設立50周年を、心からお慶び申し上げます。

さて、関東蒲生会は、昭和36年に設立されたとお聞きしております。以来、旧蒲生町の関東地区におけるふるさと会として、会員相互の親睦や情報交換の場として、また、ふるさと発展の後ろ楯をしていただく組織として、活発な活動を展開していただいておりますことに対し、深く感謝申し上げます。

ひと口に50年と申しますが、昭和30年代は、多くの中学・高校の卒業生たちが金の卵と呼ばれ、鹿児島駅から就職列車で関西・関東方面に送り出された時代でありました。会員の皆様の中にも、このような経験をお持ちの方もおられると思います。そのような皆様の弛まぬご努力を礎に、現代社会の繁栄があると考えております。

昨年、3月23日に誕生した始良市は、2年目を迎えました。時代は、経済優先だった社会から、心の豊かさが実感できる時代へと移り変わり、市民サービスの質の高さが求められております。私ども行政といたしましても、これに誠意をもって応えていかなければなりません。そのためには、始良市としての一体感を醸成しつつ、市民の皆様との協働によるまちづくりを進めることは、最も重要なことだと考えております。

また、合併のメリットにつきましては、現れるものではなくて、「創り出す」ものだと考えております。この始良市に住んでいる人が、こよなくこの始良市を愛し、その一方では、始良市を訪れる人たちに感銘を与える。そのような「県内一くらしやすいまち」づくりに思いを馳せながら、決意を新たにしているところでございます。

関東蒲生会の皆様におかれましては、今後とも、始良市の関東地区ファンクラブとして、東京加治木会、関東始良町会の方々とも更なる連携を深めていただき、一体的な取組みが進みますことをお願いいたしているところでございます。

最後に、関東蒲生会が満田会長を中心に、今後益々ご発展されますことをご祈念申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝、ご繁栄をお祈り申し上げます。

関東蒲生会50周年記念大会に寄せて

始良市役所 蒲生総合支所長 池田健志

記念すべき関東蒲生会50周年、本当におめでとうございます。



ふるさと蒲生では、皆様の温かいお志のおかげで毎年春爛漫の季節になりますと、ふるさと公園を仰ぎ見るのが楽しみとなっております。今年も、「大楠どんと祭り」に併せて50周年記念植樹祭を実施していただけるとのこと、ありがたくまた楽しみにお待ちしております。最後に関東蒲生会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

『大先輩からのお言葉』

関東蒲生会発足50周年にあたり

新辻出身(埼玉県在住) 竹内 弘三

関東蒲生会も発足50周年を迎えました由、心からお慶び申し上げます。

現在満田会長の下、会の充実発展に努めておられることは、誠に同慶の至りです。

私が会に加入したのは、東京勤務となった昭和39年ですから丁度47年前でしょうか。20年前の平成3年村山喜一会長の後を受け、加高同級生の松下兼末が会長、小生が幹事長ということで、微力ながら会運営のお手伝いをさせて頂きました。印象に残っているのは、黒川、満尾会長の後を受け、長期にわたり会長を務められました村山会長、まさに本会の中心的役割を果たされてのち、衆議院副議長を最後に政界から引退された際「村山喜一先生をたたえる会」を平成6年に衆議院副議長公邸で東京蒲生会主催の下に行ったことでした。

浜田議員の力添えもあり、当時の羽田総理、後任総理の村山社会党委員長、土井議員等々多くの衆参議員が党派を超えて参席、また多くの蒲生会会員が参加、晋町長と共に上京された村山御夫妻を囲み、盛大に実施することができたことでした。規約も平成3年に正式化した思いとか、80歳を迎えボケつつもありますが、昔を懐かしく思い出しております。

蒲生も始良市の一町となりましたが、本会が蒲生町との架け橋となり、ますます発展されますよう、長老の一人として心からお祈り申し上げます。

平成22年度関東蒲生会事業(活動)報告

関東蒲生会幹事長 山下 憲男

1. 平成22年度の報告

22年度は始良市誕生祝賀会のご案内で会長、副会長、幹事長が三町の関係者と打合せを行い下記の通り盛大に開催されました。

始良市誕生祝賀会 日時:平成22年9月25日(土) 12:00~16:30 場所:中野サンプラザ

2. 始良市誕生祝賀会スナップ

(関東蒲生会のホームページより)

・関東蒲生会担当受付窓口担当の
関東蒲生会幹事
(吉利、安楽、川上、篠崎の各幹事)

・満田会長が始良市観光大使に
任命されました。

・歌手 西田あいさんが始良市
観光大使に任命されました。
笹山市長と

・おはら連と歌手 西田あいさん

・西田あいさんと久富木副会長



3. 役員新年会(平成23年3月1日)

役員、22年度関東蒲生会総会のお手伝いボランティア14名で総会、懇親会の反省会と新年度の活動内容の検討、大筋の合意を行った。

4. 第一回総会準備(平成23年6月18日と7月7日)

総会開催のための企画、準備日程の確認、桜基金の継続、関東蒲生会会員名簿の発行ならびにこれらの費用にあてる関東蒲生会運営寄付金の募集、かわら版の発行などの決定を行う。

5. 第二回総会準備会(平成23年7月23日)予定

総会案内の準備と総会・懇親会案内状の発送

同封資料:案内状、景品案内、ふるさと納税、かわら版、寄付金振込用紙、返信用ハガキなど約400通の案内発送作業。幹事役員以外のボランティアにも期待。

6. 第三回総会準備(平成23年9月17日)予定

総会当日の役割分担、総会・懇親会の運営、スケジュール、アトラクション等の確認、必要物品の手配。

7. 関東蒲生会総会・懇親会開催(平成23年10月8日)予定

<関東蒲生会運営寄付金のお願い>

ご承知のように関東蒲生会は年一回の総会・懇親会で会員相互の親睦と町との交流を主な役割としてまいりました。引き続き今後の運営も総会での決議に基づき続けてまいる所存でございます。

一方、今回の総会・懇親会のご案内も含めた、通信費、印刷費、会議室使用料など1年間の維持運営を総会参加者の会費の中から捻出し、不足分は有志の寄付と幹事一同のボランティアで賅っているのが実情でございます。

引き続き、関東蒲生会を充実し広くホームページなどの活用や運用など安定的に運営を行うために総会・懇親会への参加される会員の方はもとより、関東蒲生会の会員の方々から広く運営寄付金の募金を募っております。関東蒲生会の有志の方々に寄付を賜りますようお願い申し上げます。(振込用紙を同封してあります)

関東蒲生会に「いっどどま・来てみやんせ！」

関東蒲生会副会長 久富木 文子

故郷、蒲生を離れて関東の地へ移り住んでからどの位の月日がたちましたか？
その間に定期的にあるいは偶に家族や親戚、友人に会いに、子供時代に駆け巡った古さとの山や川に元気をもらいに里帰りされている方もあれば、もう何年も帰っていないなあという方もあるかと思います。
故郷は、遠きにありて想うものでしょうか？ 一度、関東蒲生会で故郷に帰った気分を味わってみませんか？



参加していただいた会員の皆さまに「今日は楽しかった！又、来年も来っど！」と言ってもらえる会にしたいと、役員、幹事全員が知恵を絞って大会開催の準備に汗をかいています。

どうぞ、来る10月8日(土)は、いままで不参加だった方も、「いっどどま・来てみやんせ！」

関東蒲生会ホームページのご紹介 蒲生会ドット混む(kamoukai.com)

関東蒲生会事務局長 北原 源平

「私は、百歳まで生きるかもねえ」6、7年前だったでしょうか、長生きして逝った自分の姉さん達を思いだして呟いたお袋の言葉でした。そのお袋もう93歳になり、最近はずっかり体力が衰えてきました。たまの電話で「元気ですか」と聞くと不自由な耳でやっと聞き取って返ってくる言葉は「元気ないよ」です。

転んだら自分で起き上がれず誰か来るまでひっくり返ったままだったり、熱中症にかかったり心配させられます。蒲生で一人暮らしですが、近くに居る姉や妹たちに面倒をかけっぱなしです。定年で退職したら、こちらと蒲生を行ったり来たりして、親孝行しようと思っていたのに、もう3年余り過ぎてしまいました。いまだに雇用延長でこき使われておりますが、早くその思いを実現したいと思うこの頃です。

故郷蒲生への思いとお袋への思いは年と共に強く感じるようになりました。蒲生会に参加し事務局長を引き受けてからから4年余りでしょうか、その間、桜基金による植樹で、立派な「ふるさと公園」を造って頂きました。

また一昨年蒲生で開かれた全国巨樹フォーラムに参加し、巨樹巡りツアーなど色々思いでもできました。

皆さんも是非同級生をお誘い合わせのうえ、関東蒲生会の総会・懇親会へ参加してみませんか。

一緒に大いに盛り上がりたと思います。「どうぞ おじゃったもんせ。」



関東蒲生会のホームページ



巨木ツアー

関東蒲生会のホームページ
をご覧ください。

全国の各地にお住まいの蒲生出身者、蒲生に縁の方々も自由に閲覧・投稿できます。

このホームページには総会・懇親会時の写真やその他にも色々投稿されております。

ホームページ

<http://www.kamoukai.com>

メールアドレス

office@kamoukai.com